

報道機関各位

～考える・つながる・伝える～ 北九州市ピースフィールドクラブの活動

『つなぐ 戦争と暮らし』

開催のお知らせ

北九州市ピースフィールドクラブ(愛称ピーフィ)とは

設 立：令和6年度に平和のまちミュージアムが設立

目 的：北九州の歴史や文化、戦争の悲惨さや平和の大切さ、命の尊さなどについて学び、様々な視点から「平和」について考え、仲間と共に市内外の多くの人と繋がり、自ら行動・発信する人材育成を目的

現メンバー：中学生10名、高校生10名、大学生12名、社会人1名 計33名

企画の意図、経緯

戦後80年の今年、ピーフィの空襲体験講話部会のメンバーは、戦争当時の子どもがどのような食事、生活をし、空襲をどのように生き延び命をつないだのか、を知りたい、聴きたいと思いました。

そこで、八幡大空襲体験者の方に当時の生活や空襲体験を伺い、その後、戦時中の食事を自分たちで再現し、実食することにしました。少しでも体験者の方の当時の記憶を受け継ぎ、次世代へつないでいければと考えたものです。

部会メンバーは協議を重ねて、講演の講師を探したり、戦中食の情報を探して試作しながら具体的なレシピを完成し、この企画を実現させました。

ぜひ、ご取材いただきますようよろしくお願いいたします。

実施概要

日 時：令和7年12月13日(土) 9:50～

場 所：北九州市立生涯学習総合センター(小倉北区大門一丁目6番43号)

主な内容：第一部 講話 10:00～11:00

- ① 講師 杉野慧子氏(八幡大空襲体験者)
- ② 会場 1階 A会議室
- ③ 講話内容 八幡大空襲、戦時中の食事、当時の一日の生活

第二部 戦時中の食事再現・実食 11:00～13:00

- ① 会場 2階 調理室
- ② メニュー すいとん、かぼちゃまんじゅう

【問合せ先】

総務市民局 平和のまちミュージアム

担当：三角、居藏 電話：093-592-9300